

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 全日制)

(A4判横)

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	5名 (紙面開催)
学校関係者 (教職員を除く)	5名
事務局 (教職員)	名

学校自己評価				年度評価 (令和3年 1月30日 現在)		
領域	年度目標			重点目標の達成状況	達成度	
	現状と課題	重点目標	具体的方策			次年度への課題と改善策
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来構想短期3か年の最終年度として結果が求められる</li> <li>45分7限授業と土曜講習の確実な実施と成果の検証をする必要がある</li> <li>新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営</li> </ul>	<b>「将来構想の具現化」</b> ①45分授業・土曜講習を学力向上に活かし進学校としての実績を追求する ②スポーツ科学コースの特色を明確化し準備に取組む ③SSH指定を獲得する ④附属中学校の円滑な開設	①45分授業と土曜講習、進学指導に全校体制で取組む ②スポーツ科学コースの新設と生徒募集の工夫をする ③SSH指定の申請と探究活動を優先実施する ④開設準備室と連携し生徒募集等に協力する	①将来構想3年目として計画通り学校の基盤が整備できた ・45分授業・土曜講習、スポーツ科学コースの改編・進学校としての位置づけを明確にすることができた (学校選択問題の導入、大学共通テストの受検者数など)	A	③スポーツ科学コースや理数科、更には特進クラスの特徴をより具体化・明確化することで、文武両道の進学校づくりを推進する
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期学習指導要領に基づき教育課程を市教委・県教委と連携して今年度中に作成する必要がある</li> <li>国公立進学を目指す生徒の量的な確保と進路指導体制の構築が求められている</li> </ul>	<b>「新たなタイプの進学校」</b> ⑤次期学習指導要領にむけ国公立進学に対応する教育課程を編成する ⑥国公立進学を目指す進路指導を推進する	⑤教育課程委員会を中心に全校で新しい教育課程編成に取組む ⑥国公立進学の教育課程編成による計画的な進路指導を推進 (国公立大希望者200名以上、合格者40名以上)	⑤教育課程編成を計画通り進めることができた ⑥共通テスト受検者421名 (昨年253名) 国公立志望者113名、学校推薦型 (指定校推薦) 37名 (昨年113名) など目標値には届かなかったが進路指導の成果が表れた (12月現在)	B	⑤新教育課程の実施に向けた研修などの準備を充実させる ⑥文理分断からの脱却による国公立進学の方針を生徒・保護者、中学生等に浸透させる工夫が必要である
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ科学コースや附属中学校など新たな取り組みを周知するために丁寧な情報発信が必要である</li> <li>唯一の市立高校として、地域の教育資源活用や諸機関からの支援を受けやすい環境にある</li> </ul>	<b>「学校を核とした地域づくり」</b> ⑦市民のニーズを把握し的確な情報発信をする ⑧リーディング校として市教委事業等に協力するとともに、地域に貢献する教育を推進する	⑦ホームページや学校説明会などで生徒の顔が見える戦略的な情報発信を行う (アップ数年間365以上) ⑧小中学校対象事業を実施する (中学校教員対象進路指導研修会の新設、市事業への協力10事業以上)	⑦ホームページの更新が活発 (365回以上) になり休校期間も含め適切な情報発信ができた 積極的な広報や学校説明会によって進路希望調査では普通科3.06倍の高倍率を得た ⑧コロナ禍の影響で中止事業が多かった	A	⑦コロナ禍の影響で十分に行えなかった生徒の顔が見える情報発信を推進する ⑧リーディング校として、地域の小中学生を啓発する事業を行う
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の研修システム構築が遅れている</li> <li>川口市独自の人材配置を研修に活用しきれていない</li> <li>最新鋭の施設・設備や立地条件などから大学や研究機関から協力が受けやすい</li> </ul>	<b>「授業第一主義」</b> ⑨グループ研究を実施し成果を学校運営に反映させる ⑩政策アドバイザー、AL支援員等を活用した研修システムを構築する	⑨教職員グループ研修の新設 (4グループ程度) ・校外研修、先進校視察 (延べ20名以上) ・「未来を拓く学びプロジェクト」に全教科が参加 ⑩政策アドバイザーを指導者とした研修を実施	⑨研究グループの成果物として大学入試問題研究の冊子を作成し教員・生徒に還元できた ・「未来を拓く学びプロジェクト」に16名を派遣し、本校で3教科の研究授業を実施した	B	⑨⑩政策アドバイザーを指導者としたグループ研究のシステムを定着・発展させる ・附属中と連携して教職員の資質向上のための研修を行う
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車事故、不審者・防犯対策、アリーナ棟建設工事等、本校独自の安全面への配慮が必要となる</li> <li>ICTをはじめとする最新鋭の施設を教育活動に効果的に活用する必要がある</li> </ul>	<b>「最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮」</b> ⑪自転車通学をはじめ本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑫ネットワーク環境をはじめ最新鋭の施設・設備を生かした教育活動を展開する	⑪自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策、アリーナ棟工事中の安全確保、旧県陽、川口高校の施設の安全点検を行う ⑫ICTの有効活用に向けたネットワーク環境の整理と見直しを行う	⑪生徒指導部を中心に自転車事故の絶無に向けて新規に全校で登校指導を実施した ⑫ネットワーク環境の再構築に着手した	B	⑪アリーナ棟完成、コロナ対策など新たな危機管理に対応した対策を構築する ・地域と連携した防災対策を構築する ⑫リモート授業にも対応し得るICT環境の改善に取り組む

学校関係者評価	
※実施日 令和3年3月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・コロナ禍でありながら、他校にない45分授業や土曜講習などに取り組み、進学校としての基盤を作ったことは非常に高く評価する ・新設される「スポーツ科学コース」の取組が県や市と連携し、部活動等の教育活動の成果にプラスになることを期待する	
・平成30年4月の開校時に1年生として入学し、3年間で新校で学んだ3年次生徒が、進学実績を上げたことは、高く評価すべきである ・国公立大学、難関大学の進学率増加は川口市全体の教育レベルアップにもつながる。文系理系にとらわれぬ幅広い学習は大変重要であり、ますます期待したい	
・ホームページの内容が充実しており、在校生や保護者への情報発信、外部への学校紹介としての効果も高く、一定の評価ができる ・今後は、多様な情報発信ツールも検討し、知名度向上に取り組んでほしい ・小中学校連携事業によって小中高の一層の連携を期待する	
・不祥事を根絶すべく、日々、教職員の資質を高め、コンプライアンスの徹底をお願いする ・附属中と高校の教職員の授業改善を共有する交流は大切であり、研修を工夫して可能性を広げてほしい	
・アリーナ棟の機能を十分に活かした運用管理体制を構築し、文武両道の進学校の実現を期待する ・交通安全指導 (自転車通学のマナー等) については、一層の取組強化をお願いする ・先進のICT環境を一層活用してほしい	